

和歌山県の地震

令和4年5月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 4

2. 地震一口メモ

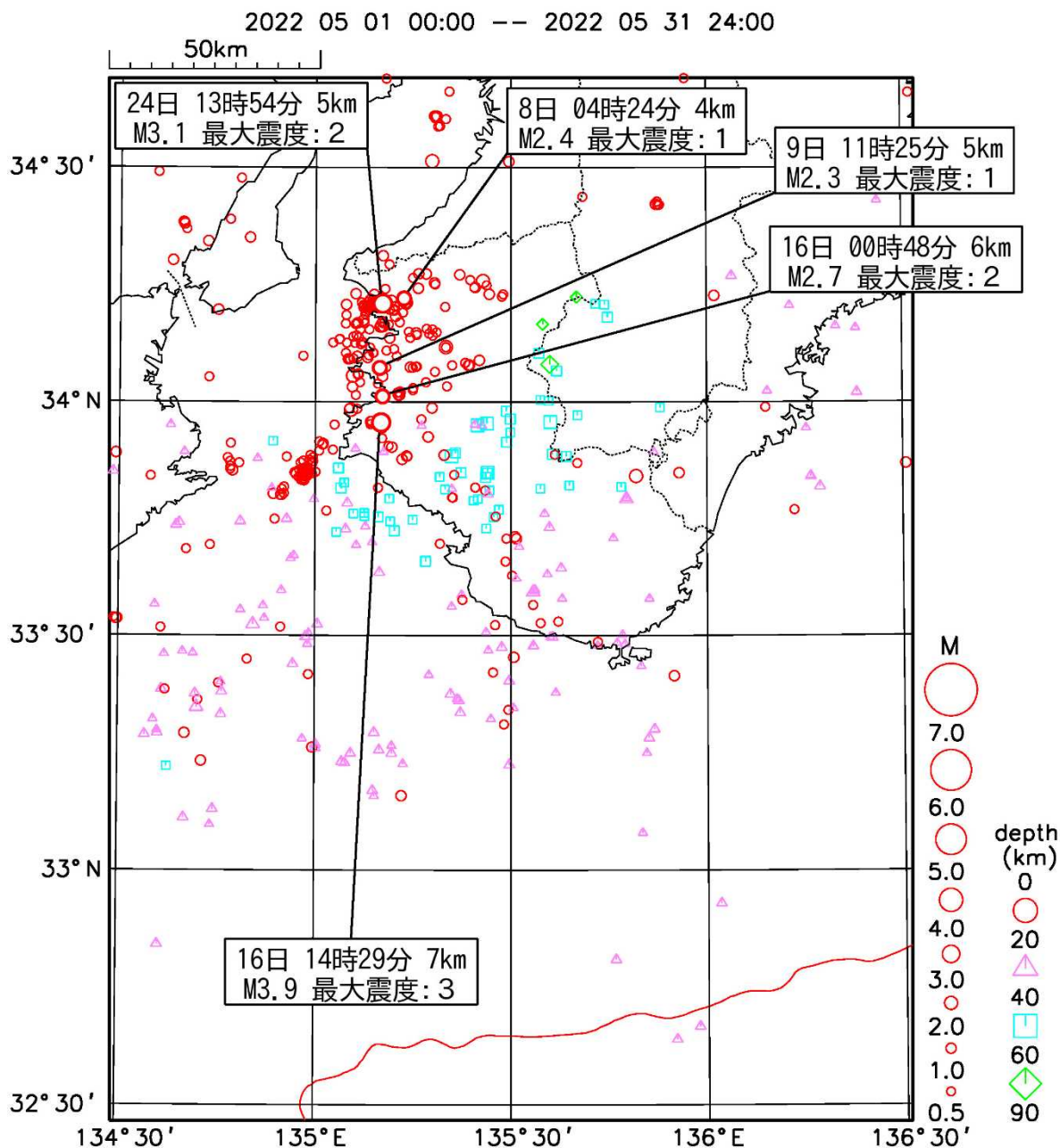
活断層について	・・・・・・・・ 7
---------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1 . 和歌山県の地震活動

【 震央分布図 】

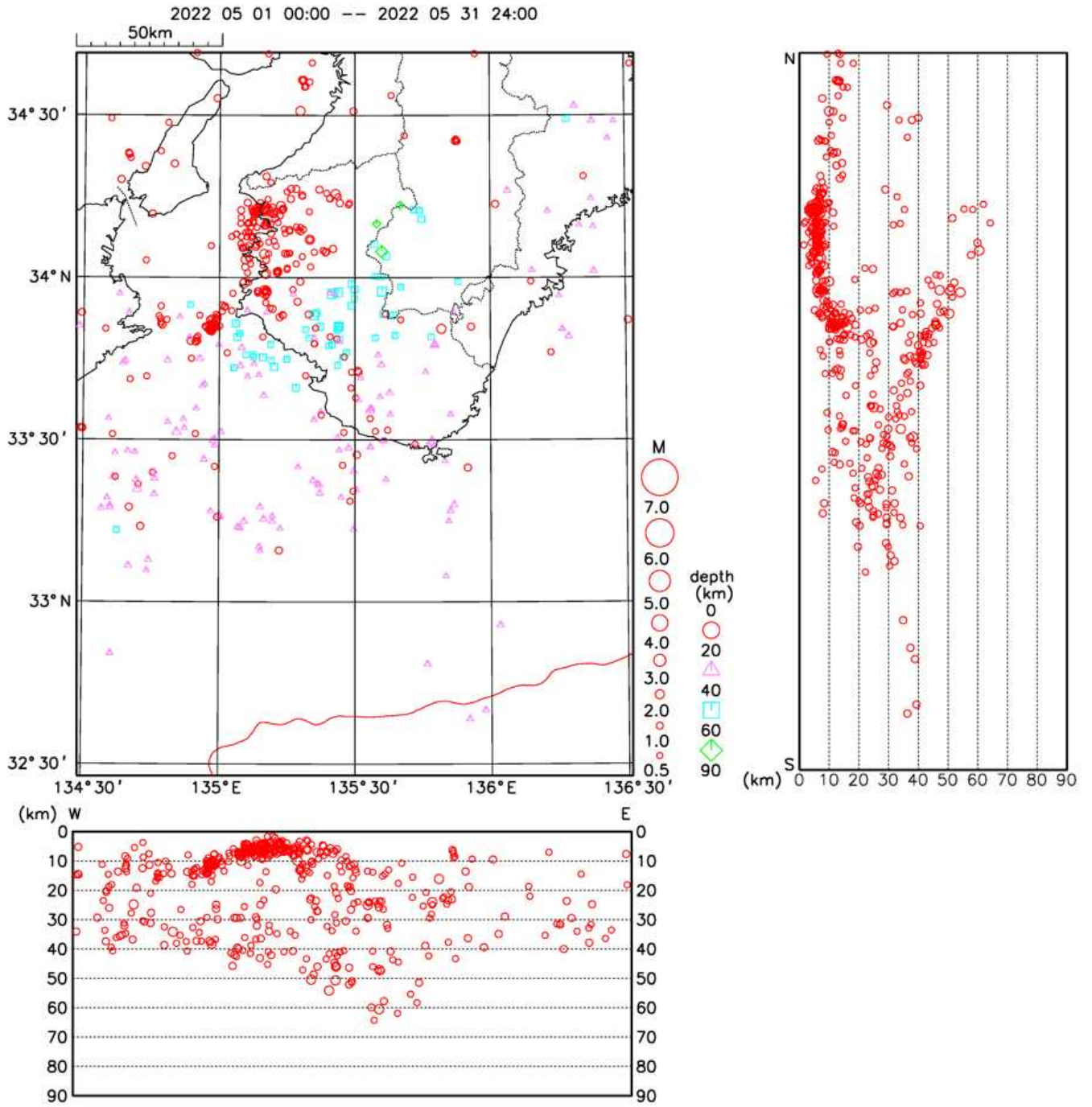


【 概況 】

5月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード(M)2.0以上の地震は23回(前月は19回)でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、16日14時29分 和歌山県北部の地震(深さ7km、M3.9)でした。この地震は地殻内で発生しました。

5月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、7回(前月6回)でした。

【 断面图 】



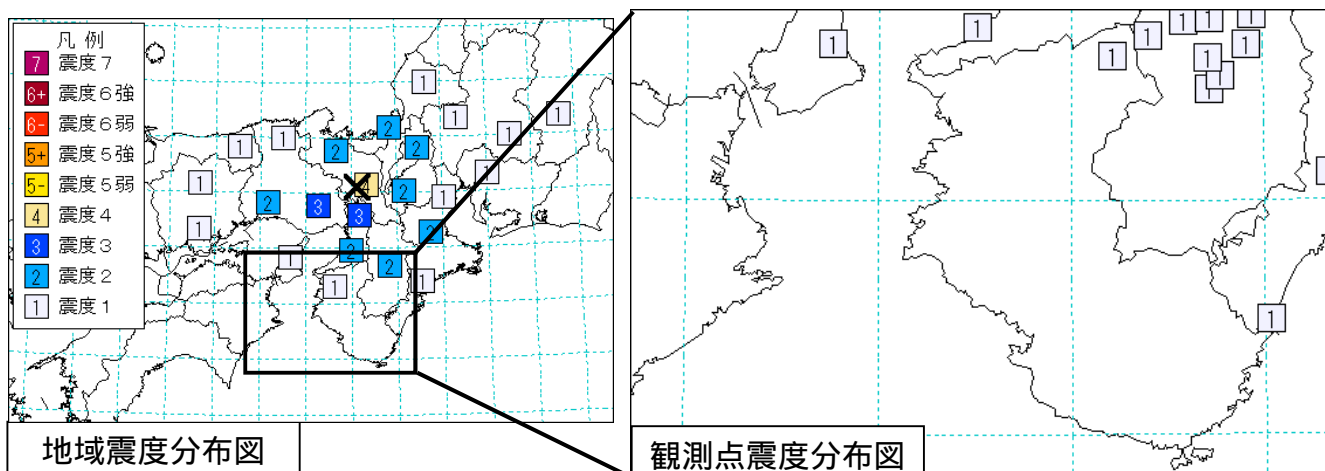
【 和歌山県で震度 1 以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時（年月日時分） 各地の震度（和歌山県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2022年05月02日22時21分 和歌山県	京都府南部 震度 1：橋本市東家*	35° 02.7' N	135° 34.0' E	13km	M4.4
2022年05月08日04時24分 和歌山県	和歌山県北部 震度 1：和歌山市一番丁*	34° 13.2' N	135° 13.5' E	4km	M2.4
2022年05月09日11時25分 和歌山県	和歌山県北部 震度 1：有田市初島町*, 有田川町下津野*	34° 04.3' N	135° 09.8' E	5km	M2.3
2022年05月16日00時48分 和歌山県	和歌山県北部 震度 2：湯浅町青木* 震度 1：由良町里*	34° 00.7' N	135° 10.3' E	6km	M2.7
2022年05月16日14時29分 和歌山県	和歌山県北部 震度 3：湯浅町青木*, 由良町里*, 日高川町土生* 震度 2：御坊市菌, 和歌山広川町広*, 和歌山美浜町和田*, 和歌山日高町高家* 有田川町下津野* 震度 1：海南市下津*, 有田市箕島, 有田市初島町*, みなべ町土井, みなべ町芝* 日高川町高津尾*, 紀美野町下佐々*, 有田川町清水*, 有田川町中井原* 田辺市中屋敷町*, 田辺市龍神村西*	33° 57.3' N	135° 10.0' E	7km	M3.9
2022年05月23日08時20分 和歌山県	徳島県北部 震度 1：御坊市菌, 湯浅町青木*, 和歌山広川町広*, 和歌山美浜町和田* 和歌山日高町高家*, 由良町里*, 日高川町土生*, 紀美野町下佐々*	33° 56.4' N	134° 18.5' E	39km	M4.2
2022年05月24日13時54分 和歌山県	和歌山県北部 震度 2：和歌山市男野芝丁, 和歌山市一番丁*	34° 12.5' N	135° 10.3' E	5km	M3.1

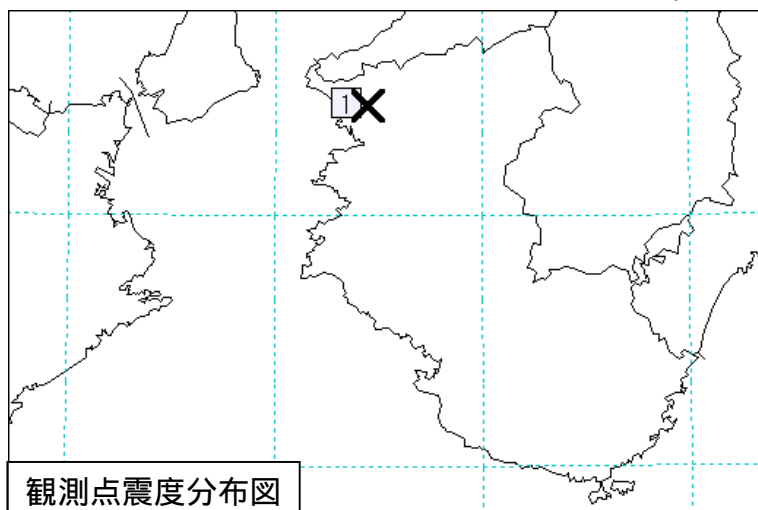
名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【 震度分布図（図中の×は震央） 】

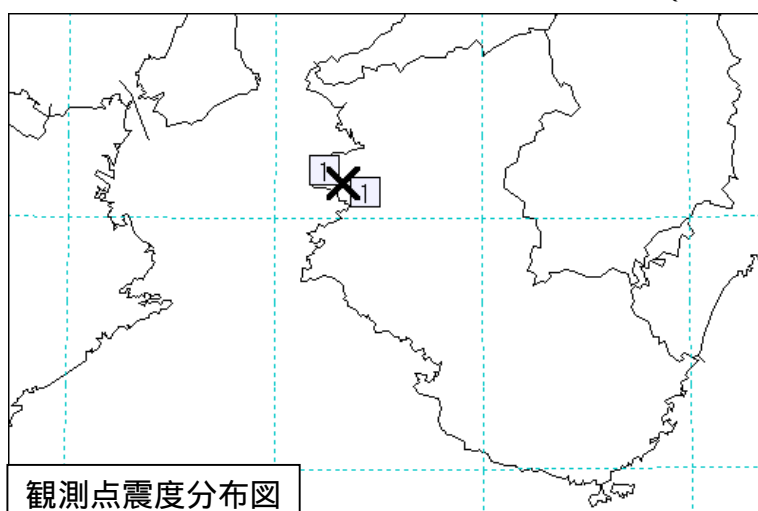
2022年05月02日22時21分 京都府南部の地震（深さ13km、M4.4）



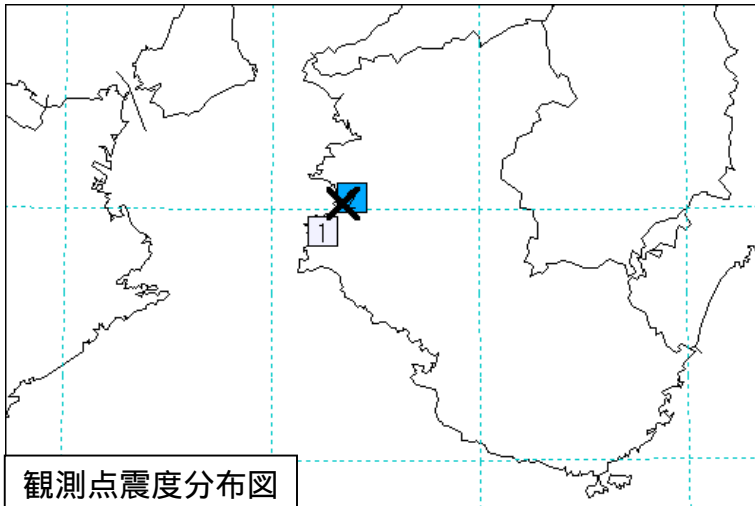
2022年05月08日04時24分 和歌山県北部の地震（深さ4km、M2.4）



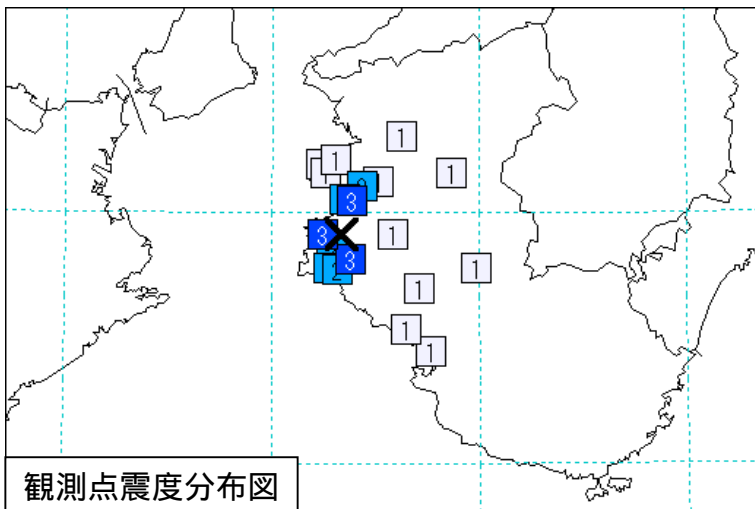
2022年05月09日11時25分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M2.3）



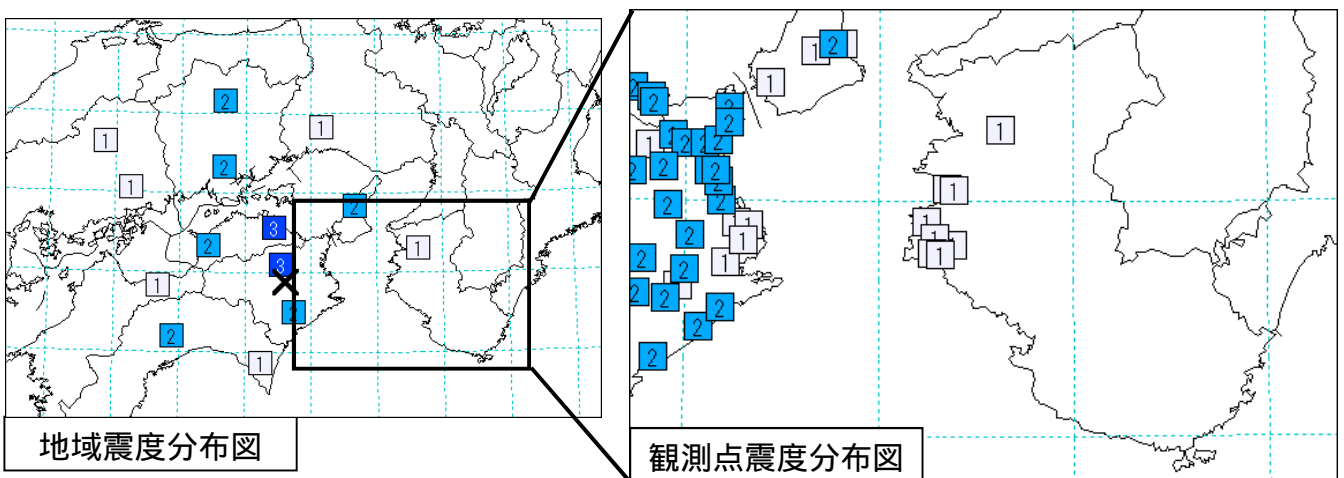
2022年05月16日00時48分 和歌山県北部の地震（深さ6km、M2.7）



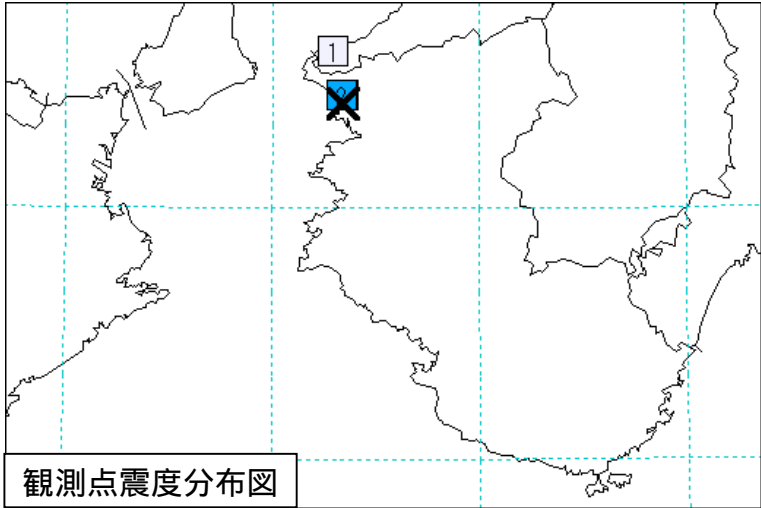
2022年05月16日14時29分 和歌山県北部の地震（深さ7km、M3.9）



2022年05月23日08時20分 徳島県北部の地震（深さ39km、M4.2）



2022年05月24日13時54分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M3.1）

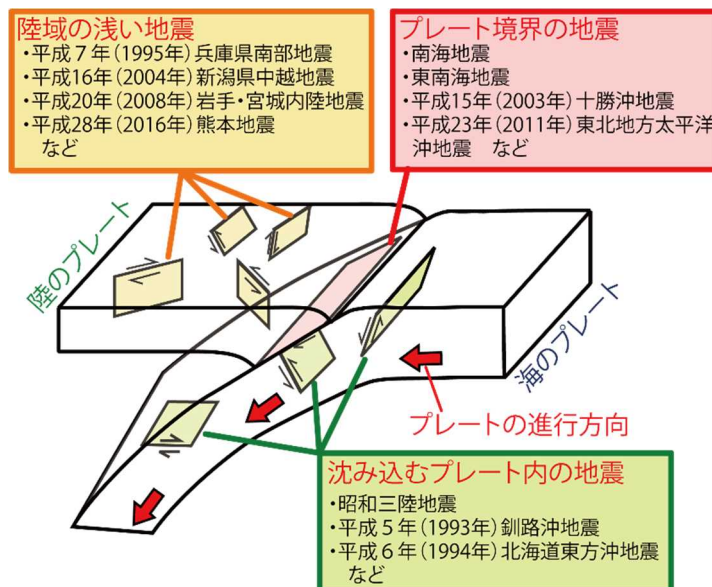


2 . 地震一口メモ

活断層について

日本列島周辺では、複数のプレートがぶつかりあっており、岩盤の中に大きなひずみが蓄えられています。そのため、海のプレート境界やプレート内のほか、陸域の浅い所（深さ約 20km より浅い所）でも多くの地震が発生します。これを「陸域の浅い地震」と呼びます。

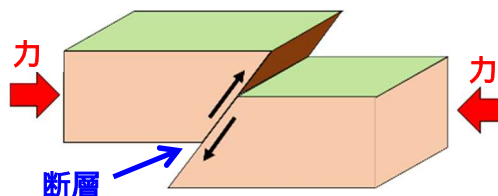
陸域の浅い地震は、地震の規模が比較的大きくない場合でも、震源が人間の居住地域に近いため大きな被害を伴うことがあります。この陸域の浅い地震を起こす原因である「活断層」について説明します。



出典：気象庁ホームページ

断層と活断層

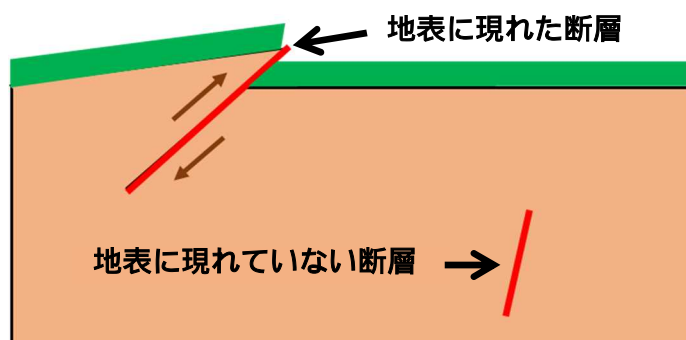
地下の岩盤が周囲から押される、もしくは引っ張られることによって、岩盤が壊れてある面を境とせずれます。このずれを「断層」といいます。ずれた衝撃が震動として伝わるものが地震です。



「断層」のうち、約200万年前から現在までの間に繰り返し活動し、将来も活動すると考えられているものを「活断層」といい、日本には約 2,000 の活断層が見つかっています。

活断層は、地震の規模がある程度大きくなければ、断層のずれが地表に現れません。断層のずれが地表に現れていた場合でも、その後の浸食や土壌の堆積により痕跡が不明瞭になり、見つからない活断層もあるかもしれません。

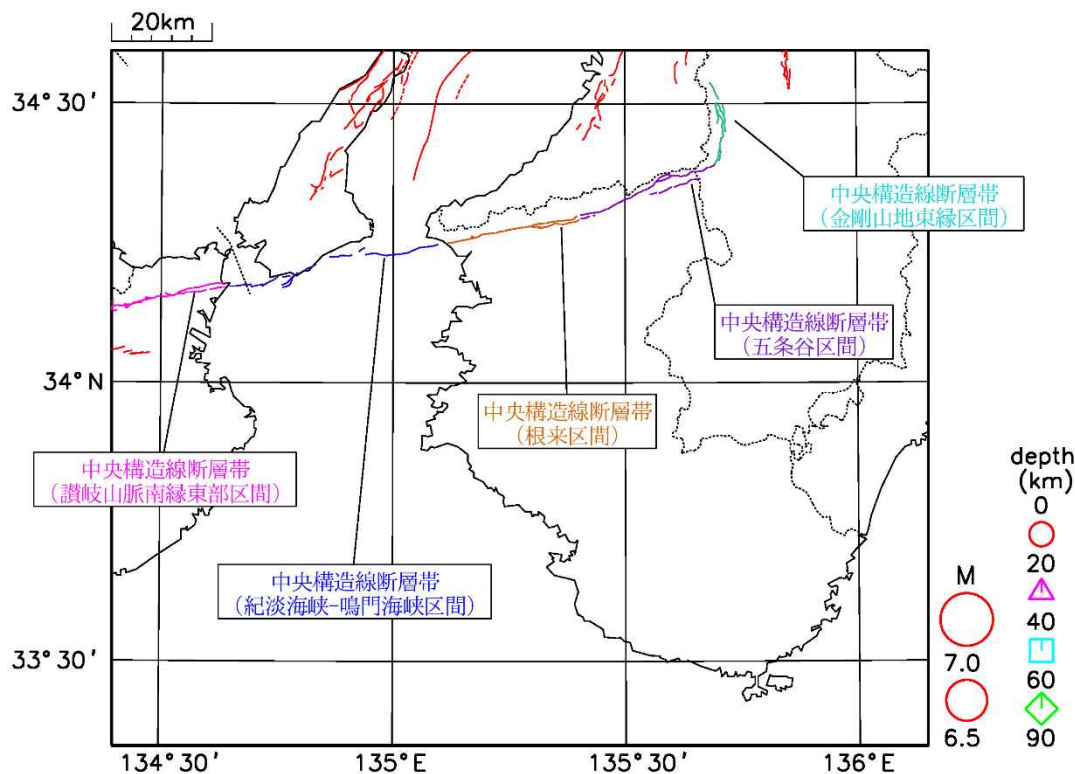
そのため、活断層が確認されていない場所でも、被害をもたらすような地震は起きることがあります。



主要活断層帯の長期評価

地震調査研究推進本部は、活動度や活動した際の社会への影響度等を考慮し、主要な活断層帯（全国約100）を選定して、過去の活動を調査し、長期的な発生の予測（長期評価）を行っています。中央構造線断層帯もその一つです。奈良県から大分県まで東西に延びる中央構造線断層帯は、過去の活動時期や断層の形状等から10区間に分けられて長期評価されています。

和歌山県及び周辺の各区間の長期評価（算定基準日：令和4年1月1日）は、以下のとおりです。



断層名	予想される地震の規模	地震発生確率		平均活動間隔
		30年以内	50年以内	最新活動時期
中央構造線断層帯 (金剛山地東縁区間)	6.8	ほぼ0%	ほぼ0%	約6,000-7,600年
				1世紀以後、3世紀以前
中央構造線断層帯 (五条谷区間)	7.3	不明	不明	不明
				約2,200年前以後、7世紀以前
中央構造線断層帯 (根来区間)	7.2	0.008~0.3%	0.01~0.5%	約2,500-2,900年
				7世紀以後、8世紀以前
中央構造線断層帯 (紀淡海峡-鳴門海峡区間)	7.5	0.005~1%	0.009~2%	約4,000-6,000年
				約3,100年前以後、約2,600年前以前
中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁東部区間)	7.7	1%以下	2%以下	約900-1,200年
				16世紀以後

発生確率が小さいからと言って、地震が起こらないと考えるのは誤りです。兵庫県南部地震は地震発生確率（30年以内）0.02%~8%で発生しました。また、確率が高いものが先に起こると考えるのも誤りです。確率が不明の活断層は、地震発生確率が低いことを表しているわけではありません。活断層が確認されていない場所でも被害をもたらすような地震が起きることがあります。